

第44回

現地参加とオンライン参加形式のハイブリッド開催

# ハンセン病医学 夏期大学講座

ハンセン病に関する最新の知識や国際協力の現状、  
将来展望などをお伝えします

2023年8月22日(火)・23日(水) **2日間**

※ **参加費無料** / 現地参加者の交通費・宿泊費・昼食代等は自己負担、事前申込者には昼食のお弁当の予約代行可能

会場 **国立感染症研究所 ハンセン病研究センター** 東京都東村山市青葉町 4-2-1  
**国立ハンセン病資料館** 東京都東村山市青葉町 4-1-13

対象 **医療系学生ならびに医療関係者**

## プログラム

8/22(火) **総合コース** オンライン配信あり・現地参加50名まで **国立ハンセン病資料館 映像ホールにて開催**

- 9:00- 主催者挨拶(厚生労働省健康局難病対策課)  
①9:05-9:55 らい菌の生物学とハンセン病の免疫応答:阿戸 学(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部長)  
②10:00-10:50 ハンセン病の臨床:山崎 正視(国立療養所多磨全生園皮膚科医長)  
③10:55-11:45 WHOハンセン病制圧プログラム:四津 里英(チュレーン大学熱帯医学校・准教授)  
11:45-12:45 お昼休憩  
④12:45-13:35 ハンセン病の歴史:森 修一(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部第7室主任研究官)  
⑤13:40-14:30 回復者の証言:藤崎 陸安(全国ハンセン病療養所入所者協議会事務局長)  
⑥14:35-15:15 ハンセン病の看護:原祐二(国立療養所多磨全生園看護師長)  
⑦15:20-16:00 ハンセン病の介護:岩崎徹也(国立療養所多磨全生園介護長)  
⑧16:05-16:35 世界のハンセン病の現状: Emmerson Gale Vista (St. Lukes Medical Center, フィリピン)  
⑨16:35-17:00 総合討論

8/23(水)

9:00-12:00 **医学(検査実習)コース** ハンセン病研究センターにて開催 現地参加のみ15名まで  
**看護コース** (認知症対策・フットケアの実演) ハンセン病研究センターにて開催 オンライン配信あり・現地参加20名まで  
**国際医療コース** (グループディスカッションあり) ハンセン病資料館映像ホールにて開催 オンライン配信あり・現地参加20名まで  
13:30-15:45 (予定) **回復者との交流会** 8/23開催各コースの現地参加のみ24名まで ※変更有 **ハンセン病研究センター**にて開催

※1日目と2日目どちらも申し込み可能 ※2日目は同時開催のため1コースを選択、交流会は2日目の現地参加者のみ申し込み可能 ※現地参加については、応募者多数の場合抽選とさせていただきます。結果は後ほどメールにてご案内いたします。

## 申し込み方法

Googleフォームよりお申し込みください。(下記 URL または右記 QR コード)

[https://docs.google.com/forms/d/1Bxdu71zxkXRcIDD1z7Quy1jtohrXb2R\\_BBaYunuBvwE/edit](https://docs.google.com/forms/d/1Bxdu71zxkXRcIDD1z7Quy1jtohrXb2R_BBaYunuBvwE/edit)



主催：厚生労働省

お問い合わせ：国立ハンセン病資料館内 ハンセン病医学夏期大学講座事務局  
042-396-2909 (火~日 9:00-17:00) info@nhdm.jp